

第42回淑楓祭

テーマ
華

10/28(土)・10/29(日)

大学

今年「華」がテーマ。雨にも負けぬ淑楓祭

長久手キャンパス

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

今

年の淑楓祭は「華」をテーマに掲げ、第42回を迎えました。

テーマに沿った華やかな装飾物でキャンパス内を飾り、学内団体の皆さんは模擬店や教室企画、ステージ発表で日々の成果を存分に発揮しました。

1日目のゲストライブはファンキー加藤さん、2日目のお笑いライブはタイムマシン3号さんをゲストに迎えました。ステージでは、雨の中ではありましたが多くの団体の皆さんにご出演いただき大変盛り上がりしました。三年ぶりに復活した専門学校企画では芸術高等学校の生徒の皆さんへアレンジをしていただき、企画教室の外までお客様が並ぶほどの大盛況となりました。



フラダンス同好会のステージ発表



正門から見える巨大布絵

多くの団体が模擬店を出店しました

実行委員会によるお客様参加企画



はッピー広場ステージでのクラブ団体パフォーマンス



後夜祭エンディングの様子

第

42回淑楓祭は、「華」をテーマに掲げ、華やかで活気が溢れた2日間となりました。

1日目にはPhatmans after schoolさんをゲストに迎え、星が丘キャンパスでは初となるバンドライブを開催しました。

メインステージでは、団体の皆さんの発表、仮装大会などのゲーム企画を行い、大いに盛り上がりしました。また、毎年ご好評いただいているお化け屋敷や、今年新たに企画した宝探しゲームやスタンブラー、模擬店、ゼミやサークル



大盛り上げの後夜ダンス

ル活動の発表をした教室企画など、様々な企画を子どもから大人まで幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。

淑楓祭当日はあいにくの雨にも関わらず、2日間で2987人もの方にお越しいただきました。キャンパス内を彩る華やかな装飾物にも負けないほどのお客様や団体のみならず、実行委員一同の笑顔が溢れている様子が見られ、とても嬉しく思っております。

来年度以降も、たくさんの方々に愛される淑楓祭を創り上げられるよう、一層の努力をしてまいります。

第42回淑楓祭を創るにあたってご協力いただいた関係者の皆様、お越しいただいたお客様へ実行委員一同心から御礼申し上げます。

後夜祭のレーザーショー



後夜祭のレーザーショー



参加団体による模擬店



教室企画で工作を楽しむ様子



スタンドグラス装飾



笑顔いっぱいの大学祭実行委員

● 沖縄研修旅行

11/4(土)~7(火)

中学校

11

月4日から7日までの3泊4日の行程で沖縄研修旅行が実施されました。沖縄では、名古屋とは異なる自然・風土や、琉球王国時代以来の独自の歴史・文化を体感できます。そして72年前の戦争と、それに続く沖縄の現状を知ること、これが最大の目的となります。戦跡を巡り、米軍基地を見ることで、「戦争と平和」について誰もが考えさせられることとなります。そのため時間をかけて事前学習に取り組みできました。

2日目は、ひめゆりの塔・平和祈念資料館・戦時の避難壕(ガマ)と、南部戦跡を巡り、戦争と平和について考える一日でした。以前は戦争体験者の方から直接お話をうかがっていたのですが、昨年から戦争体験者の証言映像を見ながら次世代の語り部からの講話に変更となりました。それでも、生徒は真剣に話に聞き入り、同年代の女子生徒のごくありふれた日常生活が一変し、悲惨な戦争に巻き込まれていったことを知り、世代を超えて胸を打つものがあつたようです。62年前の淑徳生が原爆症に苦しむ広島島の佐々木禎子さんに千羽鶴を送ったことで、今や全世界で千羽鶴が平和の象徴となつていますが、今回の研修旅行に際しても中3全員で千羽鶴をつくり、ひめゆりの塔に奉納しました。さらにガマでは漆黒の闇の中、戦時中の人々に思いを寄せて研修旅行委員が平和宣言文を読み上げました。

3日目には、沖縄戦の初期の激戦地でもある嘉数高台から普天間基地を遠望し、実際に沖縄の現状を目の当たりにしたことで、沖縄の抱える米軍基地問題についてそれぞれ問題意識を持つことができたと思います。その他にもさまざまな見学地を訪問し、沖縄について存分に学ぶことができた3泊4日となりました。



平和の礎



サトウキビ収穫く沖縄体験ニライカナイ



ひめゆりの塔



首里城公園



沖縄平和祈念公園資料館

高等学校

● 九州研修旅行

10/23(月)~27(金)

高

校2年生の研修旅行は、長崎での「平和学習」を中心に行われます。事前学習として、学年集会や各教科での話を聞いたり、被爆者の苦悩を描いた映画『夕風の街 桜の国』の鑑賞を行ったりしました。長崎では、原爆遺構を巡った後、被爆体験者である下平作江氏に講演をしていただきました。その後、原爆資料館を見学し、爆心地で慰霊祭を行いました。こうした学習を通し、生徒は戦争、とりわけ核兵器の脅威について十分に学習できたようです。今後、平和な世界をつくる社会の一員としての自覚を持つてくれたことと思います。



雲仙地獄めぐり

太宰府天満宮

被爆体験者講話

慰霊祭

研修旅行で九州を訪問する目的には、「平和学習」の他にも、九州独特の文化・歴史・自然を味わうことでもあります。古代日本の外交の中心地であり、菅原道真を祀った太宰府天満宮、今なお噴火の被害の大きさ

前日からの台風の影響で、全員そろって名古屋を出発することができませんでしたが、訪問先で出会った方々のあたたかさや、日頃共に過ごしている仲間の優しさに触れる機会が多くあり、高校時代の良い思い出となる五日間であつたようです。



浦上天主堂



中華街



有田下絵付け体験